

第1章

調査の結果概要

1. 全体概況

コロナ禍明け初の調査—日本語教育実施国・地域数と日本語教育機関数、教師数、学習者数が過去最多
学習者数は調査開始以来初の400万人超

前回（2021年度）調査は、調査期間が2021年9月から2021年12月であり、まだコロナ禍の影響を受けていたことに対して、今回調査はコロナ禍が明けてから初の調査となる。

今回調査において、海外で日本語教育の実施を確認できたのは143か国・地域で、1974年に調査が始まって以降最多であった2018年度調査の142か国・地域から1か国の増加となり、日本語教育実施国・地域の過去最多を更新した。

また、海外における日本語教育機関数（以下、機関数）は19,344機関（前回調査比5.9%増）、機関に所属する日本語教師数（以下、教師数）は80,898人（同8.5%増）、機関で学ぶ日本語学習者数（以下、学習者数）は4,000,750人（同5.4%増）で、機関数、教

師数、学習者数のいずれも過去最多の結果となった。コロナ禍の影響により、全ての調査項目で減少が見られた前回調査の数値を上回っただけでなく、コロナ禍とは無関係な時期の調査結果である前々回（2018年度）調査と比較しても、全項目で増加した。特に学習者に関しては、本調査開始以来、初めて400万人を超えた。

なお、本調査で対象としているのは「外国語としての日本語教育を実施している可能性のある機関」であり、各数値は回答機関から提出された調査票の回答を集計した実数である。そのため、外国語教育を実施していない機関や、テレビ・ラジオ・書籍・インターネット環境等で日本語を独習している学習者等は結果に含んでいない。

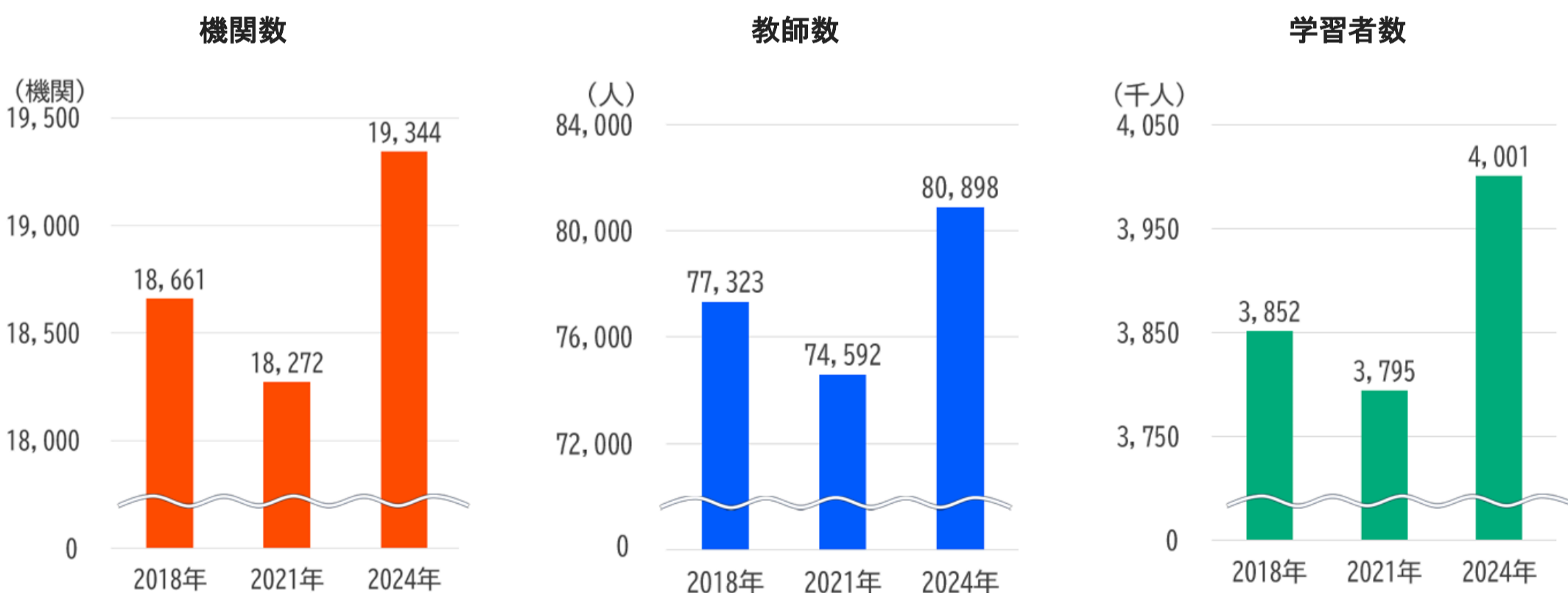
表1-1-1 日本語教育実施国・地域数

	2018年度	2021年度	2024年度
国	134か国	133か国	135か国
地域	8地域	8地域	8地域

表1-1-2 機関数・教師数・学習者数

	2018年度	2021年度	2024年度
機関（機関）	18,661	18,272	19,344
教師（人）	77,323	74,592	80,898
学習者（人）	3,851,774	3,794,714	4,000,750

グラフ1-1-1 過去3回分の調査結果の比較



**新たに機関による日本語教育の実施が確認できたのは3か国、再開したのは6か国
実施が確認できなくなったのは7か国、差し引きで2か国の増加**

今回調査で、新たに機関による日本語教育の実施を確認できたのは3か国である。また、かつて日本語教育が実施されていたが前回調査までの間に実施を確認できなくなっていた国・地域のうち、6か国で機関による日本語教育が再開していることが確認された。

一方で、前回調査における日本語教育実施国のうち7か国で実施が確認できなかった。世界全体としては、結果として前回調査からは2か国増加した計143か国・地域で、機関による日本語教育の実施を確認できた。

表 1-1-3 新たに日本語教育の実施が確認できた国、再開した国

新たに実施が確認できた国	機関数（2024年度）
コソボ	1
ジブチ	1
赤道ギニア	1
再開した国	機関数（2024年度）
マーシャル	1
バルバドス	2
オマーン	3
ウガンダ	1
エチオピア	1
ザンビア	1

表 1-1-4 日本語教育の実施が確認できなかった国

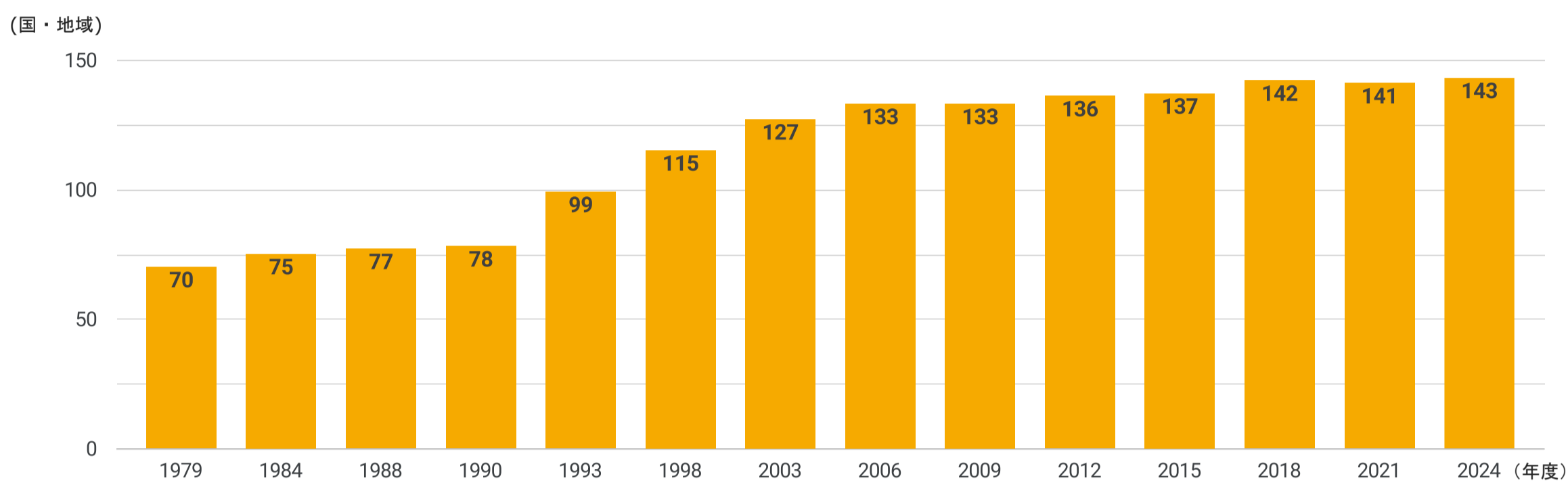
国	機関数（2021年度）
キリバス	1
ハイチ	1
ベリーズ	1
サンマリノ	1
イエメン	1
コンゴ民主共和国	1
セーシェル	1

過去45年間で実施国・地域数は2.0倍、機関数は16.9倍、教師数は19.7倍、学習者数は31.5倍に

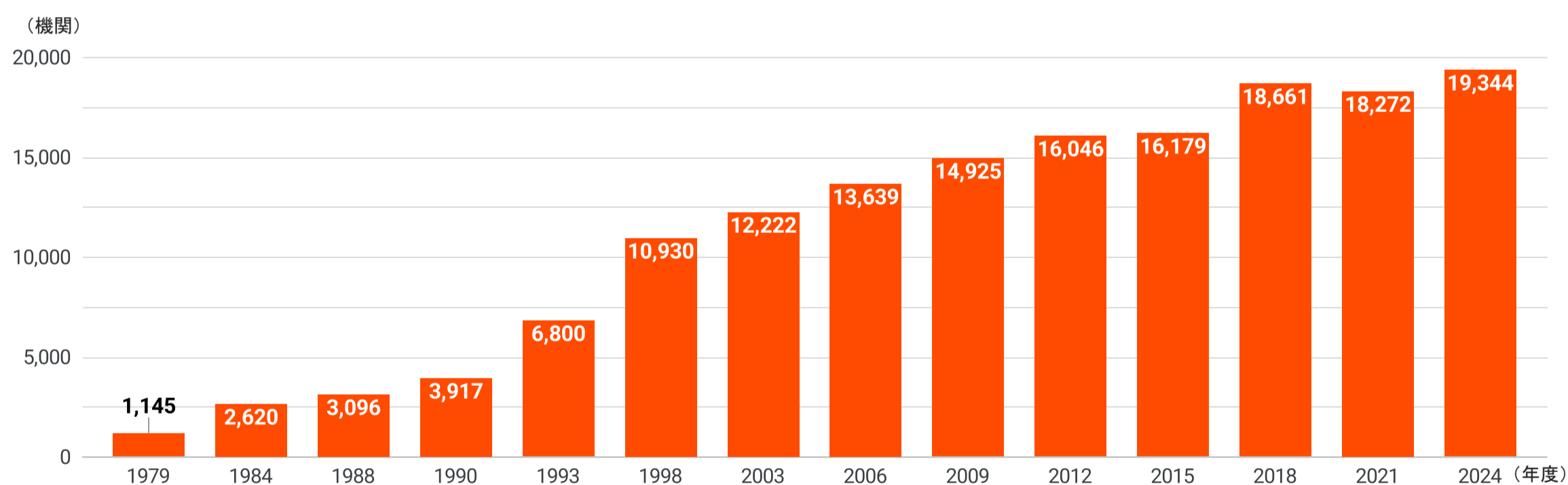
1979年度調査（現行の調査方法により近い、1979年度調査からを比較の対象としている。）から今回調査までの過去14回の調査結果をみると、日本語教育を実施している国・地域数は70か国・地域から143か

国・地域（2.0倍）に、機関数は1,145機関から19,344機関（16.9倍）に、教師数は4,097人から80,898人（19.7倍）に、学習者数は127,167人から4,000,750人（31.5倍）にそれぞれ増加している。

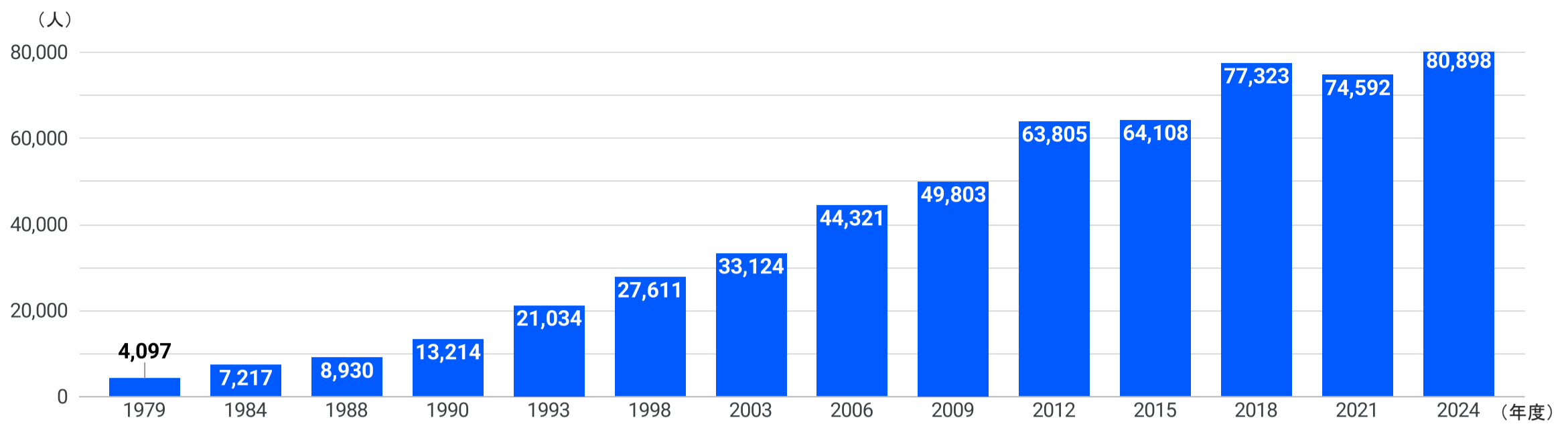
グラフ1-1-2 日本語教育実施国・地域数



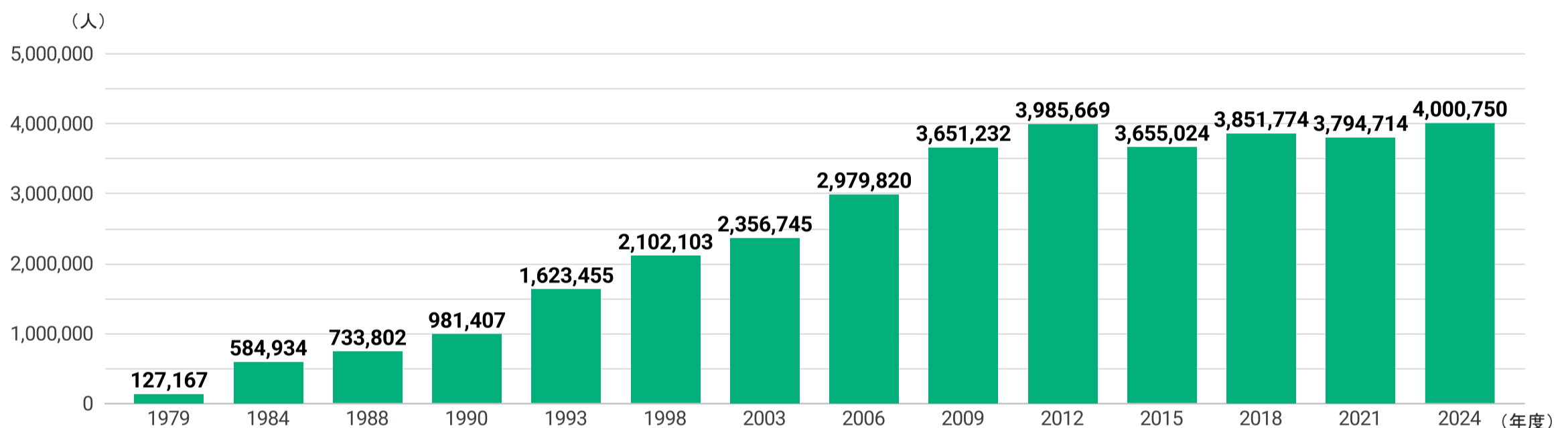
グラフ1-1-3 機関数



グラフ1-1-4 教師数



グラフ1-1-5 学習者数



全機関の30.9%がオンライン授業を実施

オンライン授業の実施状況は、前回（2021年度）調査から新たに加わった調査項目である。今回調査では、全機関の30.9%（5,981機関）がオンライン授業を実施していることが明らかになり、前回調査の63.1%（11,525機関）からオンライン授業実施率は大幅に減少した。オンライン授業の実施率が下がった要因として、コロナ禍が明け、オンライン授業から対面授業に戻ったことが挙げられる。

オンライン授業の実施率が最も高い地域は中米（69.5%）で、次いで北アフリカ（64.7%）、中東（63.2%）、東欧（60.4%）と続く。全体的な流れとしてオンライン授業の実施率は下がったとはいえ、全世界の平均（30.9%）より高い地域に関しては、オンラインによる授業形態が一過性の現象に終わらず、一定程度の定着を見せたことが読み取れる。

表1-1-5 オンライン学習実施率

地域	地域全体機関数	オンライン授業実施機関数	オンライン授業実施率 (%)
東アジア	6,928	1,463	21.1
東南アジア	5,626	1,883	33.5
南アジア	1,174	623	53.1
大洋州	1,833	199	10.9
北米	1,296	522	40.3
中米	203	141	69.5
南米	467	271	58.0
西欧	1,146	488	42.6
東欧	497	300	60.4
中東	68	43	63.2
北アフリカ	34	22	64.7
アフリカ	72	26	36.1
全世界	19,344	5,981	30.9

2. 地域概況

機関数、教師数、学習者数ともに、東アジアと東南アジアが前回調査に引き続き多くの割合を占める

機関数、教師数、学習者数を地域別に比較すると、いずれも東アジアが占める割合が最も高く、次いで東南アジアとなっている。この2地域が全世界に占める割合は機関数64.9%、教師数74.4%、学習者数75.8%である。

機関数については東南アジア（前回（2021年度）調査比12.5%、625機関増）、南アジア（同51.3%、398機関増）、西欧（同8.0%、85機関増）、東欧（同17.5%、74機関増）、南米（同18.5%、73機関増）、中米（同12.8%、23機関増）、アフリカ（同5.9%、4機関増加）、北アフリカ（同3.0%増加、1機関増加）で増加しているが、ほかの4地域（東アジア、大洋州、北米、中東）では前回調査より減少している。

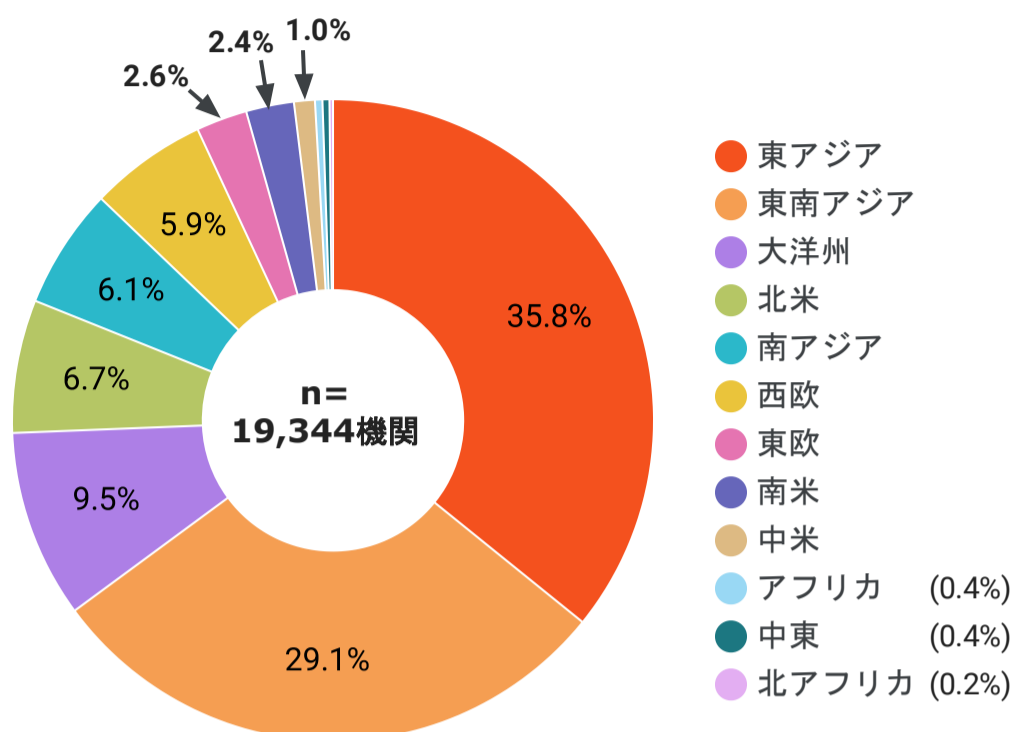
教師数は、北米（同5.5%減、256人減少）と中東（同4.9%減、10人減少）の2地域で減少の傾向が見られる。

学習者数については北米と北アフリカ以外の10地域で増加しており、特に南アジア（同104.3%、65,797人増）では大幅な増加率となっている。

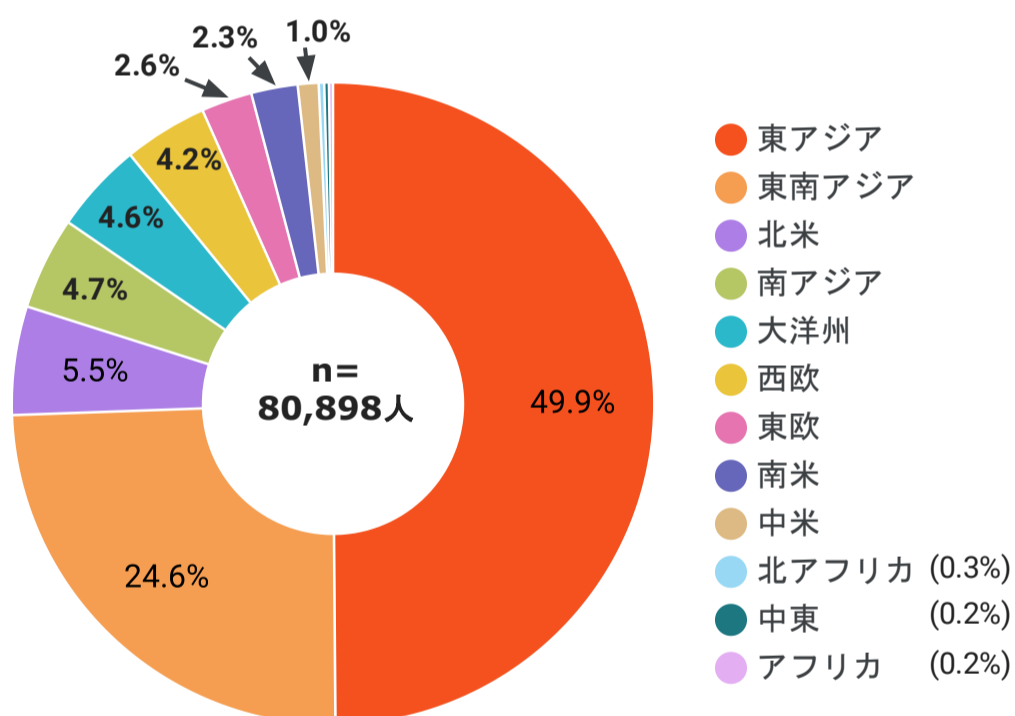
なお、学習者数が最も増加した地域は東南アジア（同9.2%、109,092人増）である。

地域内の個々の国・地域によって差はあるものの、全体で見ると東南アジア、南アジア、中米、南米、西欧、東欧、アフリカの7地域においては機関数、教師数、学習者数ともに増加が確認された。一方、北米においては、機関数、教師数、学習者数ともに減少している。全世界で最も機関数、教師数、学習者数の多い東アジアについては、機関数は微減しているが、教師数と学習者数は微増という結果となった。

グラフ1-2-1 地域別機関数の割合



グラフ1-2-2 地域別教師数の割合



グラフ1-2-3 地域別学習者数の割合

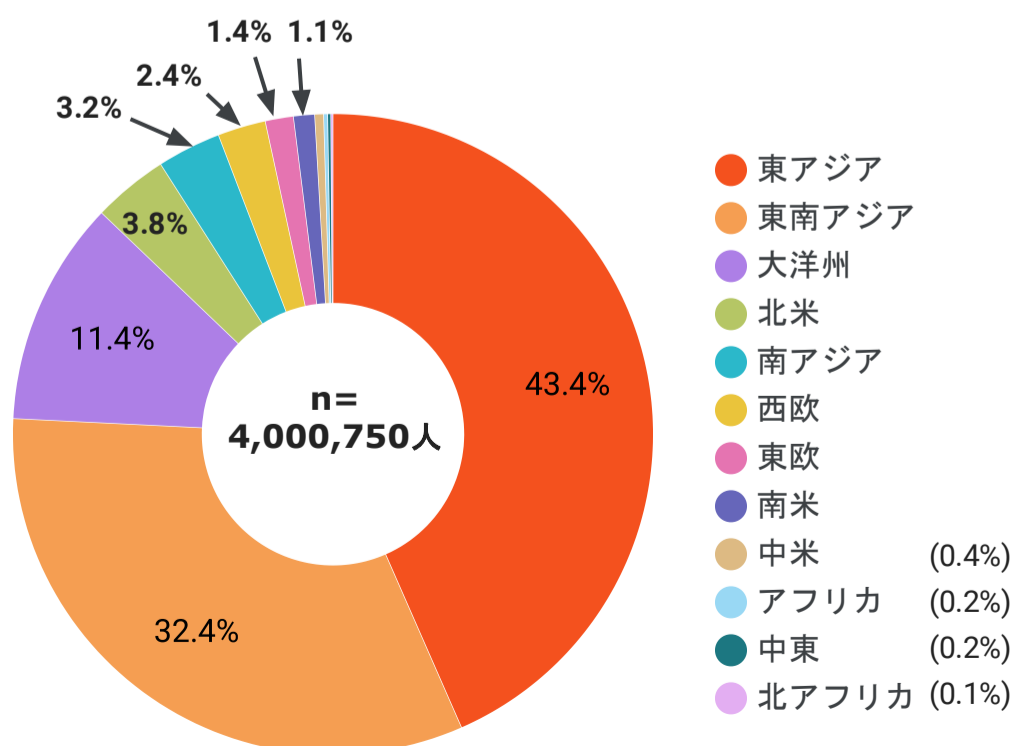


表 1-2-1 地域別機関数・教師数・学習者数

地域	機関				教師				学習者			
	2024年度 (機関)	2021年度 (機関)	増減率 (%)	割合 (%)	2024年度 (人)	2021年度 (人)	増減率 (%)	割合 (%)	2024年度 (人)	2021年度 (人)	増減率 (%)	割合 (%)
東アジア	6,928	6,939	▲0.2	35.8	40,350	39,002	3.5	49.9	1,737,204	1,713,833	1.4	43.4
東南アジア	5,626	5,001	12.5	29.1	19,869	17,343	14.6	24.6	1,294,467	1,185,375	9.2	32.4
南アジア	1,174	776	51.3	6.1	3,771	2,471	52.6	4.7	128,890	63,093	104.3	3.2
大洋州	1,833	1,943	▲5.7	9.5	3,685	3,599	2.4	4.6	454,700	448,977	1.3	11.4
北米	1,296	1,372	▲5.5	6.7	4,419	4,675	▲5.5	5.5	152,419	179,695	▲15.2	3.8
中米	203	180	12.8	1.0	848	765	10.8	1.0	17,857	17,562	1.7	0.4
南米	467	394	18.5	2.4	1,894	1,548	22.4	2.3	42,473	34,557	22.9	1.1
西欧	1,146	1,061	8.0	5.9	3,416	2,944	16.0	4.2	97,075	89,530	8.4	2.4
東欧	497	423	17.5	2.6	2,070	1,723	20.1	2.6	56,881	44,866	26.8	1.4
中東	68	82	▲17.1	0.4	193	203	▲4.9	0.2	6,199	6,030	2.8	0.2
北アフリカ	34	33	3.0	0.2	221	190	16.3	0.3	4,489	4,580	▲2.0	0.1
アフリカ	72	68	5.9	0.4	162	129	25.6	0.2	8,096	6,616	22.4	0.2
全世界	19,344	18,272	5.9	100.0	80,898	74,592	8.5	100.0	4,000,750	3,794,714	5.4	100.0

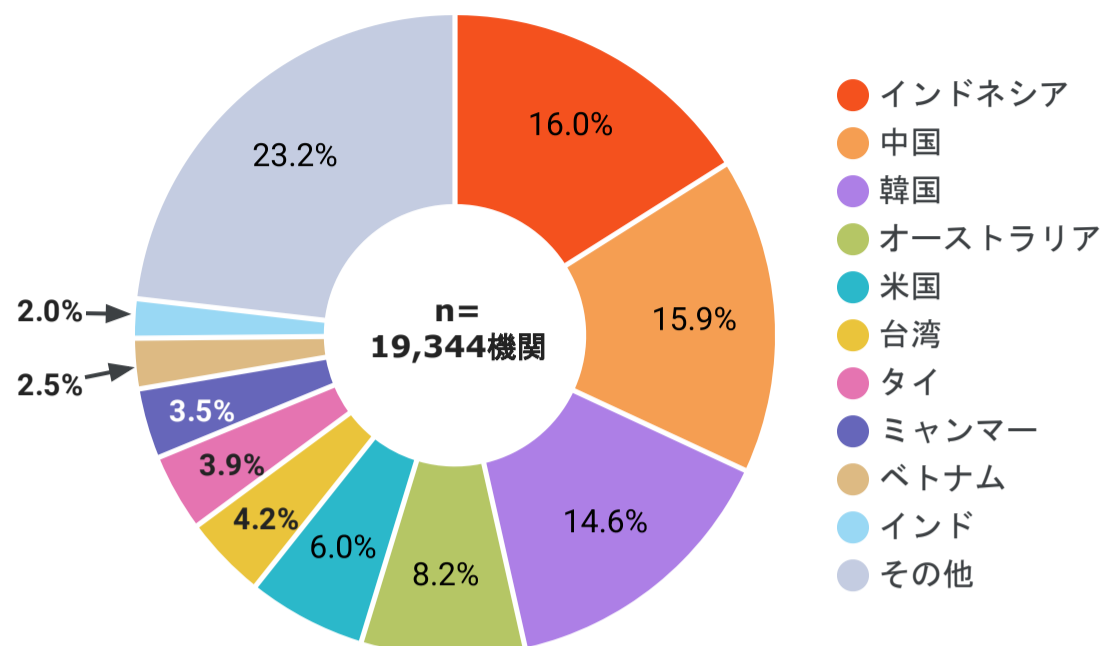
全世界の日本語教育学習者数は中国・インドネシア・韓国が上位、ミャンマーとインドが9位と10位にランクイン

機関数の上位3か国はインドネシアが3,103機関（16.0%）、中国が3,073機関（15.9%）、韓国が2,815機関（14.6%）となっており、この3か国で全体の46.5%を占めている。次いでオーストラリアの1,595機関、米国の1,155機関となっており、上位5か国までが機関数1,000以上となっている。機関数の上位10か国・地域の増減をみると、5か国で増加しているが、5か国・地域で減少しており、前回（2021年度）調査で最も機関数が多かった中国は2位だったインドネシアと順位が入れ替わる形となった。

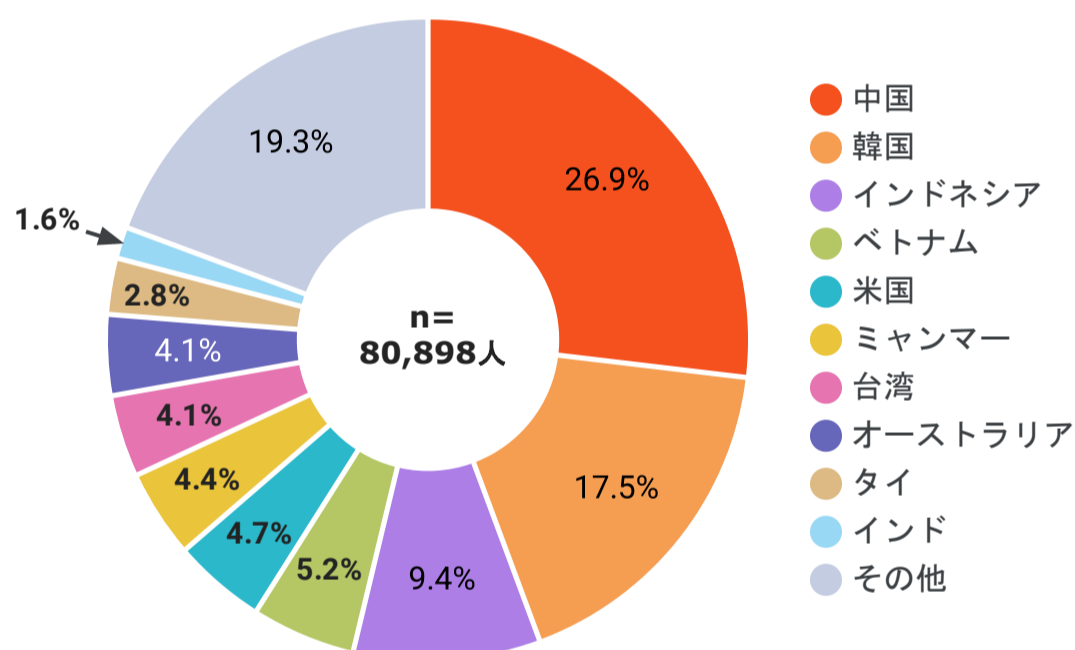
また教師数の上位は中国（21,743人）、韓国（14,127人）、インドネシア（7,614人）、ベトナム（4,230人）、米国（3,780人）で順位は前回調査と同様である。なお教師数は上位10か国・地域ではベトナム、米国、台湾では減少しているが、それ以外では増加した。

学習者については上位8か国までの順位は変わらず、1位の中国が1,019,197人で3.6%減少、2位のインドネシアは732,914人で3.0%増加、3位の韓国は18.1%増加し555,396人となった。4位のオーストラリアは2.2%と微増し、424,316人だった。以下、5位にはタイ（194,366人、前回調査比5.7%増）、6位にはベトナム（164,495人、同3.0%減）、7位には米国（134,096人、同16.9%減）、8位には台湾（124,149人、13.6%減）が位置している。9位のミャンマーは100,315人で、前回調査から424.6%と大幅に増加した。10位のインド（52,946人）も、47.0%と大幅に増加した。

グラフ1-2-4 機関数における各国・地域の割合



グラフ1-2-5 教師数における各国・地域の割合



グラフ1-2-6 学習者数における各国・地域の割合

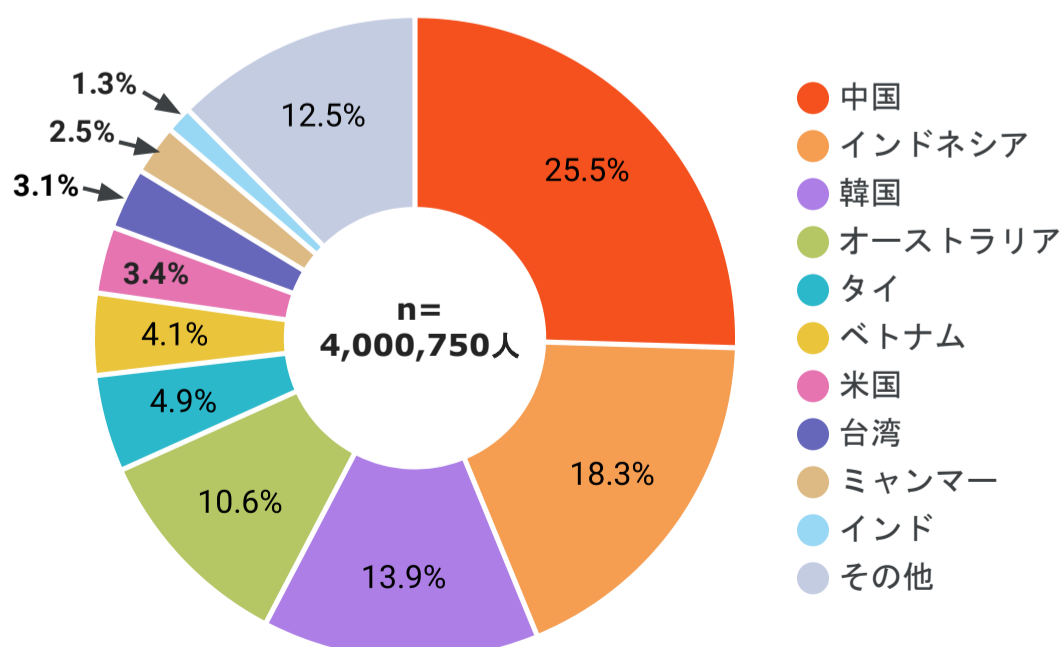


表1-2-2 各国・地域の学習者数・機関数・教師数（2024年度学習者数順位）

順位	2021年度順位	国・地域	学習者（人）				機関（機関）				教師（人）			
			2024年度	2021年度	増減数（人）	増減率（%）	2024年度	2021年度	増減数（機関）	増減率（%）	2024年度	2021年度	増減数（人）	増減率（%）
1	1	中国	1,019,197	1,057,318	▲38,121	▲3.6	3,073	2,965	108	3.6	21,743	21,361	382	1.8
2	2	インドネシア	732,914	711,732	21,182	3.0	3,103	2,958	145	4.9	7,614	6,617	997	15.1
3	3	韓国	555,396	470,334	85,062	18.1	2,815	2,868	▲53	▲1.8	14,127	13,229	898	6.8
4	4	オーストラリア	424,316	415,348	8,968	2.2	1,595	1,648	▲53	▲3.2	3,280	3,052	228	7.5
5	5	タイ	194,366	183,957	10,409	5.7	755	676	79	11.7	2,286	2,015	271	13.4
6	6	ベトナム	164,495	169,582	▲5,087	▲3.0	490	629	▲139	▲22.1	4,230	5,644	▲1,414	▲25.1
7	7	米国	134,096	161,402	▲27,306	▲16.9	1,155	1,241	▲86	▲6.9	3,780	4,109	▲329	▲8.0
8	8	台湾	124,149	143,632	▲19,483	▲13.6	809	907	▲98	▲10.8	3,343	3,375	▲32	▲0.9
9	16	ミャンマー	100,315	19,124	81,191	424.6	685	189	496	262.4	3,577	896	2,681	299.2
10	11	インド	52,946	36,015	16,931	47.0	381	323	58	18.0	1,285	1,132	153	13.5
11	9	フィリピン	42,677	44,457	▲1,780	▲4.0	227	242	▲15	▲6.2	916	1,111	▲195	▲17.6
12	10	マレーシア	40,669	38,129	2,540	6.7	217	215	2	0.9	486	484	2	0.4
13	24	スリランカ	34,650	9,746	24,904	255.5	298	89	209	234.8	650	164	486	296.3
14	12	フランス	31,381	29,569	1,812	6.1	285	302	▲17	▲5.6	960	930	30	3.2
15	15	ブラジル	26,708	20,732	5,976	28.8	309	261	48	18.4	1,156	942	214	22.7
16	13	ニュージーランド	25,456	28,072	▲2,616	▲9.3	171	224	▲53	▲23.7	296	432	▲136	▲31.5
17	25	ネパール	25,292	9,646	15,646	162.2	318	241	77	32.0	1,146	812	334	41.1
18	14	香港	20,868	27,665	▲6,797	▲24.6	62	73	▲11	▲15.1	534	625	▲91	▲14.6
19	17	カナダ	18,323	18,293	30	0.2	141	131	10	7.6	639	566	73	12.9
20	22	ドイツ	17,440	11,687	5,753	49.2	188	128	60	46.9	602	353	249	70.5
21	20	モンゴル	16,123	13,334	2,789	20.9	164	117	47	40.2	561	363	198	54.5
22	19	メキシコ	15,151	14,552	599	4.1	153	139	14	10.1	669	612	57	9.3
23	29	バングラデシュ	14,918	7,418	7,500	101.1	165	116	49	42.2	643	346	297	85.8
24	27	トルクメニスタン	14,844	8,865	5,979	67.4	20	12	8	66.7	88	56	32	57.1
25	18	英国	14,646	14,631	15	0.1	219	172	47	27.3	635	473	162	34.2
26	21	ロシア	13,525	12,426	1,099	8.8	192	151	41	27.2	786	666	120	18.0
27	26	スペイン	9,536	9,383	153	1.6	140	158	▲18	▲11.4	385	404	▲19	▲4.7
28	23	シンガポール	8,532	10,837	▲2,305	▲21.3	17	19	▲2	▲10.5	180	182	▲2	▲1.1
29	28	イタリア	7,117	8,387	▲1,270	▲15.1	50	45	5	11.1	196	186	10	5.4
30	30	ポーランド	6,409	5,008	1,401	28.0	47	47	0	0.0	269	234	35	15.0
31	32	カンボジア	5,343	3,874	1,469	37.9	92	51	41	80.4	423	301	122	40.5
32	31	アルゼンチン	5,093	4,486	607	13.5	62	51	11	21.6	282	252	30	11.9
33	38	ラオス	4,431	3,118	1,313	42.1	29	16	13	81.3	123	74	49	66.2
34	39	アイルランド	4,396	3,084	1,312	42.5	47	35	12	34.3	76	48	28	58.3
35	34	ウズベキスタン	4,201	3,579	622	17.4	19	18	1	5.6	157	129	28	21.7
36	44	ルーマニア	3,708	1,892	1,816	96.0	21	12	9	75.0	63	40	23	57.5
37	35	エジプト	3,661	3,514	147	4.2	18	14	4	28.6	176	147	29	19.7
38	33	ペルー	3,551	3,761	▲210	▲5.6	26	13	13	100.0	114	81	33	40.7
39	53	パラグアイ	3,269	1,262	2,007	159.0	13	13	0	0.0	103	59	44	74.6
40	36	ニューカレドニア	3,053	3,426	▲373	▲10.9	31	36	▲5	▲13.9	53	56	▲3	▲5.4

			学習者（人）				機関（機関）				教師（人）			
順位	2021年度 順位	国・地域	2024年度	2021年度	増減数 (人)	増減率 (%)	2024年度	2021年度	増減数 (機関)	増減率 (%)	2024年度	2021年度	増減数 (人)	増減率 (%)
41	37	トルコ	2,929	3,305	▲376	▲11.4	26	40	▲14	▲35.0	80	97	▲17	▲17.5
42	40	スイス	2,573	2,791	▲218	▲7.8	72	77	▲5	▲6.5	230	197	33	16.8
43	54	ブルガリア	2,353	1,207	1,146	94.9	11	6	5	83.3	88	25	63	252.0
44	46	ケニア	2,332	1,726	606	35.1	26	26	0	0.0	41	44	▲3	▲6.8
45	41	マダガスカル	2,231	2,413	▲182	▲7.5	20	19	1	5.3	58	37	21	56.8
46	45	ハンガリー	1,847	1,815	32	1.8	35	32	3	9.4	106	94	12	12.8
47	48	フィンランド	1,719	1,584	135	8.5	20	15	5	33.3	35	28	7	25.0
48	51	チェコ	1,713	1,304	409	31.4	23	13	10	76.9	106	83	23	27.7
49	52	キルギス	1,708	1,300	408	31.4	14	13	1	7.7	50	40	10	25.0
50	43	コロンビア	1,679	2,024	▲345	▲17.0	16	20	▲4	▲20.0	75	85	▲10	▲11.8
51	59	オーストリア	1,564	880	684	77.7	17	8	9	112.5	44	22	22	100.0
52	55	ベルギー	1,559	1,196	363	30.4	19	12	7	58.3	42	38	4	10.5
53	42	ウクライナ	1,498	2,052	▲554	▲27.0	14	17	▲3	▲17.6	93	105	▲12	▲11.4
54	49	マカオ	1,471	1,550	▲79	▲5.1	5	9	▲4	▲44.4	42	49	▲7	▲14.3
55	65	コートジボワール	1,359	634	725	114.4	7	4	3	75.0	13	5	8	160.0
56	50	スウェーデン	1,181	1,471	▲290	▲19.7	15	18	▲3	▲16.7	33	45	▲12	▲26.7
57	47	オランダ	1,178	1,599	▲421	▲26.3	19	22	▲3	▲13.6	53	69	▲16	▲23.2
58	68	アラブ首長国連邦	929	598	331	55.4	9	10	▲1	▲10.0	21	28	▲7	▲25.0
59	56	チリ	918	1,096	▲178	▲16.2	14	11	3	27.3	48	39	9	23.1
60	92	パキスタン	906	243	663	272.8	9	5	4	80.0	42	13	29	223.1
61	57	グアム島	893	1,076	▲183	▲17.0	12	9	3	33.3	17	16	1	6.3
62	60	コスタリカ	786	829	▲43	▲5.2	13	10	3	30.0	49	44	5	11.4
63	74	イラク	762	450	312	69.3	4	2	2	100.0	6	6	0	0.0
64	70	ジョージア	745	588	157	26.7	9	9	0	0.0	27	25	2	8.0
65	61	ガーナ	680	814	▲134	▲16.5	2	5	▲3	▲60.0	6	14	▲8	▲57.1
66	64	ポルトガル	637	663	▲26	▲3.9	12	11	1	9.1	33	27	6	22.2
67	71	ギリシャ	614	568	46	8.1	11	12	▲1	▲8.3	30	25	5	20.0
68	76	東ティモール	609	417	192	46.0	9	4	5	125.0	32	16	16	100.0
69	69	ナイジェリア	588	596	▲8	▲1.3	2	2	0	0.0	6	3	3	100.0
70	67	カザフスタン	581	611	▲30	▲4.9	8	8	0	0.0	29	38	▲9	▲23.7
71	58	デンマーク	549	897	▲348	▲38.8	13	18	▲5	▲27.8	27	42	▲15	▲35.7
72	62	イスラエル	536	753	▲217	▲28.8	9	11	▲2	▲18.2	21	25	▲4	▲16.0
73	66	モロッコ	527	626	▲99	▲15.8	10	13	▲3	▲23.1	25	31	▲6	▲19.4
74	63	ノルウェー	516	667	▲151	▲22.6	8	14	▲6	▲42.9	19	35	▲16	▲45.7
75	85	ベネズエラ	477	302	175	57.9	12	10	2	20.0	46	32	14	43.8
76	72	ボリビア	470	488	▲18	▲3.7	6	5	1	20.0	38	22	16	72.7
77	75	クロアチア	436	441	▲5	▲1.1	6	6	0	0.0	27	21	6	28.6
78	73	セルビア	423	484	▲61	▲12.6	4	4	0	0.0	14	13	1	7.7
79	82	ホンジュラス	407	355	52	14.6	8	5	3	60.0	28	20	8	40.0
80	80	ベラルーシ	390	384	6	1.6	9	10	▲1	▲10.0	22	26	▲4	▲15.4

			学習者（人）				機関（機関）				教師（人）			
順位	2021年度順位	国・地域	2024年度	2021年度	増減数（人）	増減率（%）	2024年度	2021年度	増減数（機関）	増減率（%）	2024年度	2021年度	増減数（人）	増減率（%）
81	81	エストニア	352	376	▲24	▲6.4	10	14	▲4	▲28.6	18	18	0	0.0
82	78	リトアニア	333	404	▲71	▲17.6	9	10	▲1	▲10.0	16	16	0	0.0
83	90	スロバキア	326	246	80	32.5	16	11	5	45.5	26	16	10	62.5
84	79	エルサルバドル	281	387	▲106	▲27.4	5	5	0	0.0	27	28	▲1	▲3.6
85	77	グアテマラ	280	414	▲134	▲32.4	5	4	1	25.0	14	12	2	16.7
86	83	アゼルバイジャン	274	339	▲65	▲19.2	4	4	0	0.0	15	15	0	0.0
87	114	イラン	270	108	162	150.0	2	1	1	100.0	19	6	13	216.7
88	107	ベナン	256	142	114	80.3	1	1	0	0.0	2	1	1	100.0
89	124	南アフリカ共和国	245	58	187	322.4	4	4	0	0.0	13	6	7	116.7
90	88	北マリアナ諸島	240	270	▲30	▲11.1	3	3	0	0.0	3	3	0	0.0
91	84	アルメニア	239	321	▲82	▲25.5	7	8	▲1	▲12.5	22	23	▲1	▲4.3
91	91	スロベニア	239	244	▲5	▲2.0	5	4	1	25.0	21	19	2	10.5
93	97	ジャマイカ	219	213	6	2.8	3	3	0	0.0	5	5	0	0.0
94	121	カタール	217	71	146	205.6	6	4	2	50.0	8	9	▲1	▲11.1
95	106	アイスランド	209	145	64	44.1	2	3	▲1	▲33.3	7	9	▲2	▲22.2
96	101	チュニジア	205	170	35	20.6	3	2	1	50.0	6	4	2	50.0
97	112	フランス領ポリネシア	197	113	84	74.3	4	6	▲2	▲33.3	7	14	▲7	▲50.0
98	87	ヨルダン	183	299	▲116	▲38.8	4	7	▲3	▲42.9	9	12	▲3	▲25.0
99	103	パラオ	180	155	25	16.1	3	3	0	0.0	4	3	1	33.3
100	96	タジキスタン	174	223	▲49	▲22.0	3	5	▲2	▲40.0	8	8	0	0.0
101	98	ウルグアイ	163	181	▲18	▲9.9	6	6	0	0.0	16	16	0	0.0
101	94	ルクセンブルク	163	228	▲65	▲28.5	6	7	▲1	▲14.3	6	7	▲1	▲14.3
103	113	シリア	157	110	47	42.7	1	1	0	0.0	10	7	3	42.9
104	133	ブータン	156	18	138	766.7	2	1	1	100.0	4	3	1	33.3
105	102	トンガ	155	162	▲7	▲4.3	9	7	2	28.6	17	13	4	30.8
106	99	ドミニカ共和国	151	175	▲24	▲13.7	3	3	0	0.0	26	19	7	36.8
107	86	アルバニア	150	300	▲150	▲50.0	1	1	0	0.0	1	1	0	0.0
108	104	トリニダード・トバゴ	149	150	▲1	▲0.7	1	1	0	0.0	5	2	3	150.0
109	95	エクアドル	145	225	▲80	▲35.6	3	4	▲1	▲25.0	16	20	▲4	▲20.0
110	108	パナマ	139	140	▲1	▲0.7	3	3	0	0.0	6	6	0	0.0
111	119	ボスニア・ヘルツェゴビナ	136	76	60	78.9	3	3	0	0.0	4	4	0	0.0
112	117	セネガル	132	86	46	53.5	1	2	▲1	▲50.0	2	1	1	100.0
113	99	ラトビア	130	175	▲45	▲25.7	3	3	0	0.0	7	5	2	40.0
114	110	モルドバ	126	131	▲5	▲3.8	1	1	0	0.0	3	2	1	50.0
115	93	ミクロネシア	125	229	▲104	▲45.4	2	4	▲2	▲50.0	3	5	▲2	▲40.0
116	130	キューバ	123	28	95	339.3	4	1	3	300.0	9	2	7	350.0
117	105	ブルネイ	116	148	▲32	▲21.6	2	2	0	0.0	2	3	▲1	▲33.3
118	88	アルジェリア	96	270	▲174	▲64.4	3	4	▲1	▲25.0	14	8	6	75.0
119	-	オマーン	82	0	82	-	3	0	3	-	6	0	6	-
120	118	サウジアラビア	80	80	0	0.0	1	1	0	0.0	6	4	2	50.0

			学習者（人）				機関（機関）				教師（人）			
順位	2021年度 順位	国・地域	2024年度	2021年度	増減数 (人)	増減率 (%)	2024年度	2021年度	増減数 (機関)	増減率 (%)	2024年度	2021年度	増減数 (人)	増減率 (%)
121	109	プエルトリコ	76	139	▲63	▲45.3	1	2	▲1	▲50.0	2	2	0	0.0
122	122	ニカラグア	63	62	1	1.6	2	2	0	0.0	5	7	▲2	▲28.6
123	126	ジンバブエ	60	53	7	13.2	1	1	0	0.0	1	1	0	0.0
124	-	ザンビア	57	0	57	-	1	0	1	-	5	0	5	-
125	127	パプアニュー ギニア	50	50	0	0.0	1	1	0	0.0	3	2	1	50.0
125	128	キプロス	50	45	5	11.1	1	1	0	0.0	1	1	0	0.0
125	133	カメルーン	50	18	32	177.8	2	1	1	100.0	7	1	6	600.0
128	-	バルバドス	32	0	32	-	2	0	2	-	3	0	3	-
128	129	マルタ	32	34	▲2	▲5.9	1	1	0	0.0	1	1	0	0.0
130	-	エチオピア	30	0	30	-	1	0	1	-	2	0	2	-
130	138	ブルキナファ ソ	30	9	21	233.3	1	1	0	0.0	3	2	1	50.0
132	111	クウェート	24	121	▲97	▲80.2	1	1	0	0.0	2	2	0	0.0
133	-	ウガンダ	23	0	23	-	1	0	1	-	1	0	1	-
134	139	モルディブ	22	7	15	214.3	1	1	0	0.0	1	1	0	0.0
135	-	マーシャル	20	0	20	-	1	0	1	-	1	0	1	-
135	131	レバノン	20	25	▲5	▲20.0	1	2	▲1	▲50.0	1	2	▲1	▲50.0
137	125	サモア	15	56	▲41	▲73.2	1	1	0	0.0	1	1	0	0.0
137	139	モナコ	15	7	8	114.3	1	1	0	0.0	1	3	▲2	▲66.7
137	-	赤道ギニア	15	0	15	-	1	0	1	-	1	0	1	-
140	120	北マケドニア	11	75	▲64	▲85.3	2	1	1	100.0	2	1	1	100.0
141	-	コソボ	10	0	10	-	1	0	1	-	2	0	2	-
141	116	バーレーン	10	96	▲86	▲89.6	1	1	0	0.0	4	3	1	33.3
143	-	ジブチ	8	0	8	-	1	0	1	-	1	0	1	-
-	-	全世界	4,000,750	3,794,714	206,036	5.4	19,344	18,272	1,072	5.9	80,898	74,592	6,306	8.5

国・地域数でみる機関数、教師数、学習者数の増減

前回から今回調査にかけての機関数の増減をみると、66の国・地域で1,709機関の増加、37の国・地域で前回と同数、47の国・地域で637機関の減少となり、全世界合計では1,072機関の増加となった。増加分ではミャンマーが約3割（29.0%、496機関）を占め、以下スリランカ、インドネシア、中国、タイが上位にきている。減少分についてはベトナム、台湾、米国の3か国・地域でほぼ半数（50.7%、323機関）を占めている。

教師数の増減をみてみると、89の国・地域で8,726人の増加、18の国・地域で前回調査と同数、43の国・地域で2,420人の減少となり、全世

界合計では6,306人の増加となった。増加分はミャンマー、インドネシア、韓国が特に多く、減少分についてはベトナムが特に多かった。

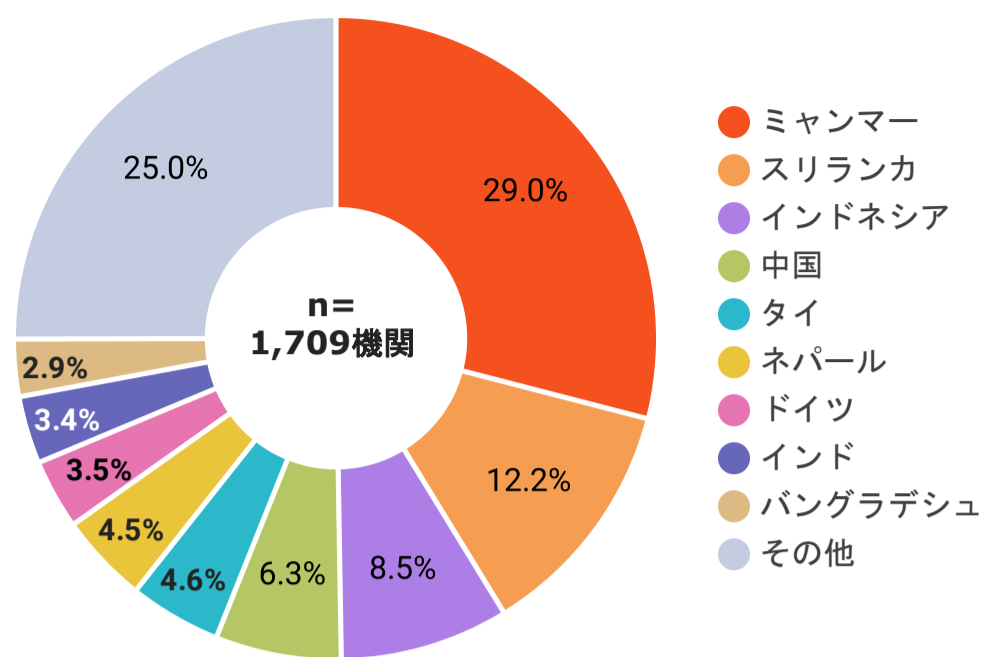
学習者数の増減については、79の国・地域で317,329人の増加、2か国・地域で前回と同数、69の国・地域で111,293人の減少となり、全世界合計では206,036人の増加となった。学習者数の増加が特に多かったのは韓国（85,062人）とミャンマー（81,191人）であり、以下スリランカ、インドネシア、インドが続いた。減少幅が大きかったのは中国、米国、台湾である。

表1-2-3 機関数・教師数・学習者数の増減内訳

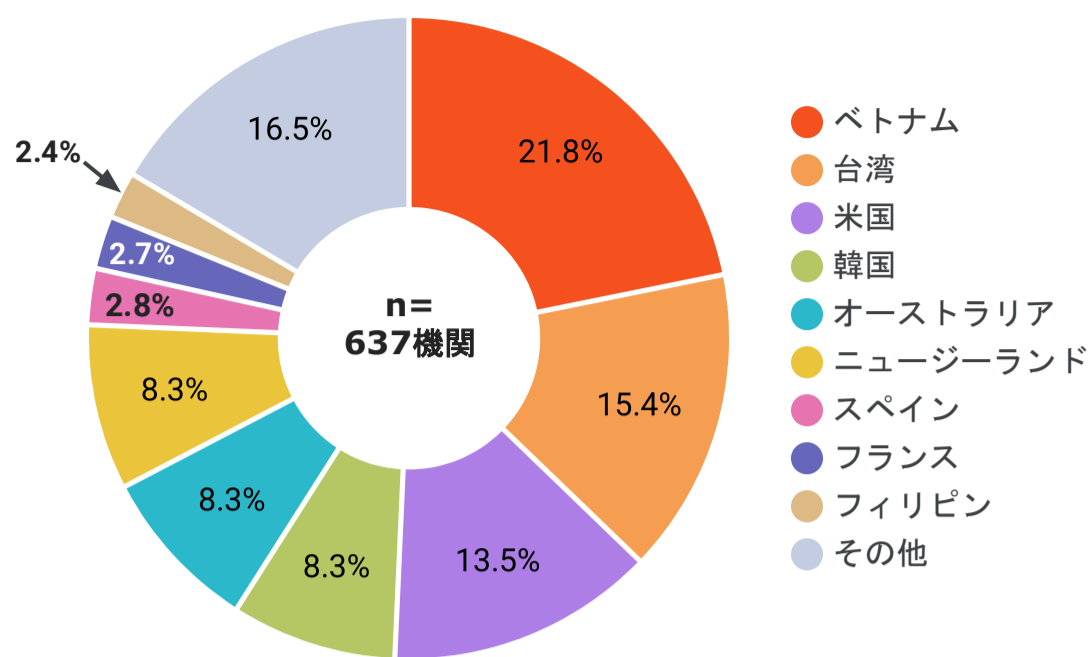
	増加した国・地域	前回と同数の国・地域※	減少した国・地域 (日本語学習が確認できなかった9か国を含む)
機関数	66	37	47
教師数	89	18	43
学習者数	79	2	69

※「前回と同数の国・地域」には、前回・今回調査の両方において、機関による日本語教育の実施が確認されなかった国・地域は含まない。

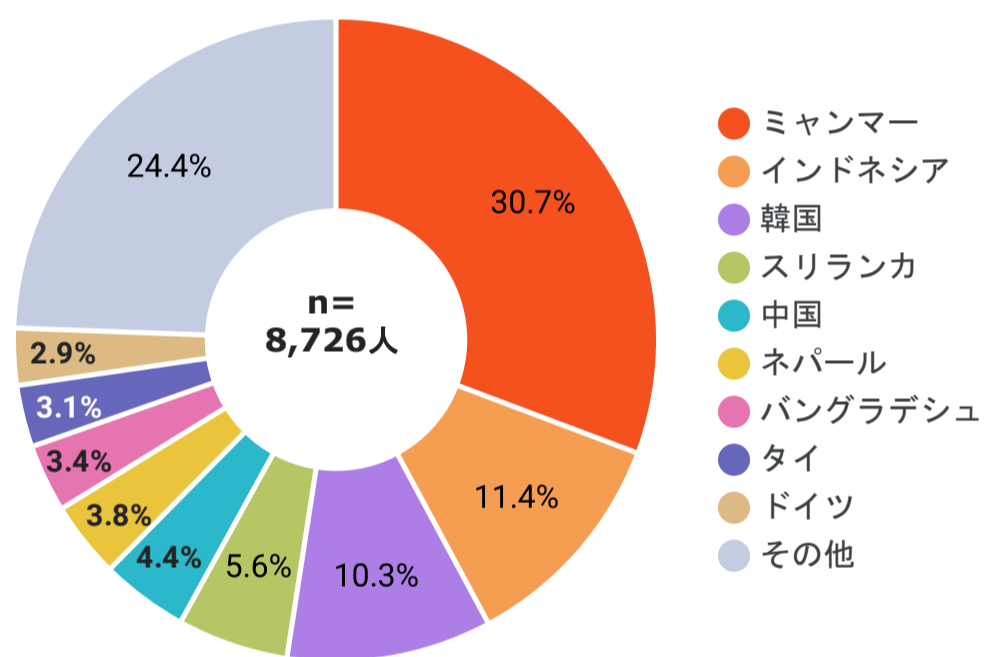
グラフ1-2-7 機関数が増加した国・地域の割合



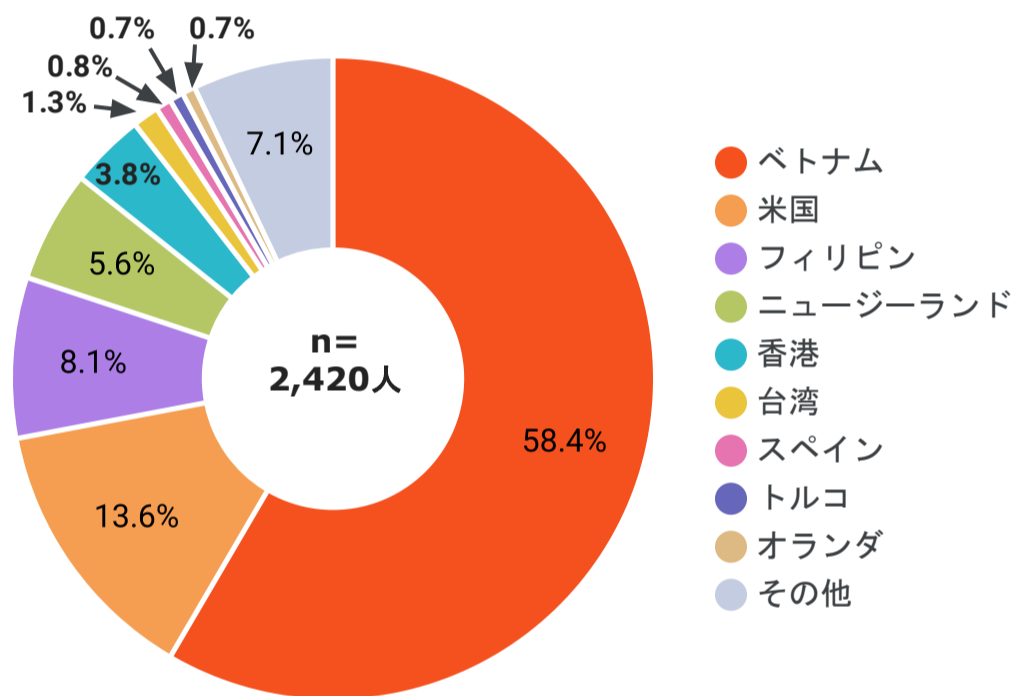
グラフ1-2-8 機関数が減少した国・地域の割合



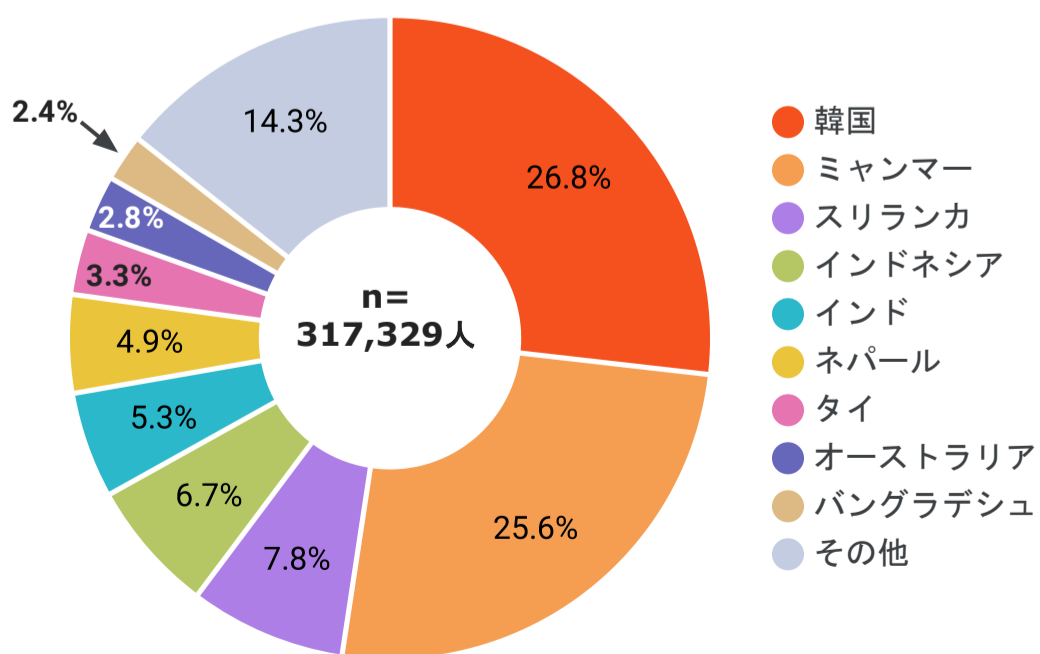
グラフ1-2-9 教師数が増加した国・地域の割合



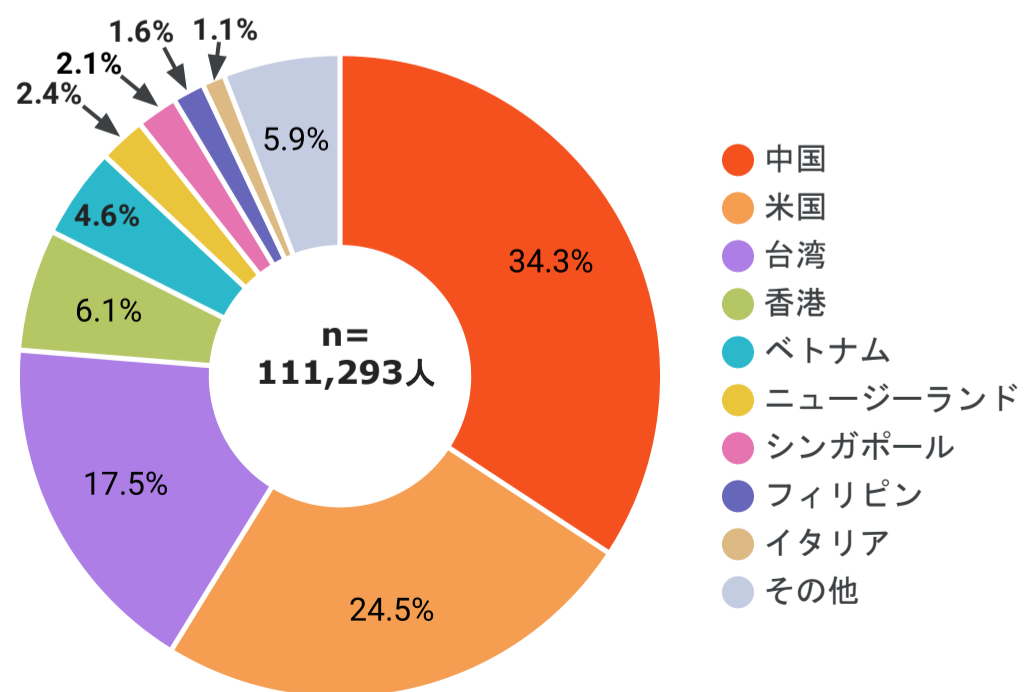
グラフ1-2-10 教師数が減少した国・地域の割合



グラフ1-2-11 学習者数が増加した国・地域の割合



グラフ1-2-12 学習者数が減少した国・地域の割合



3. 教育段階別の概況

学校教育以外における大幅な増加、初等教育と高等教育は減少傾向

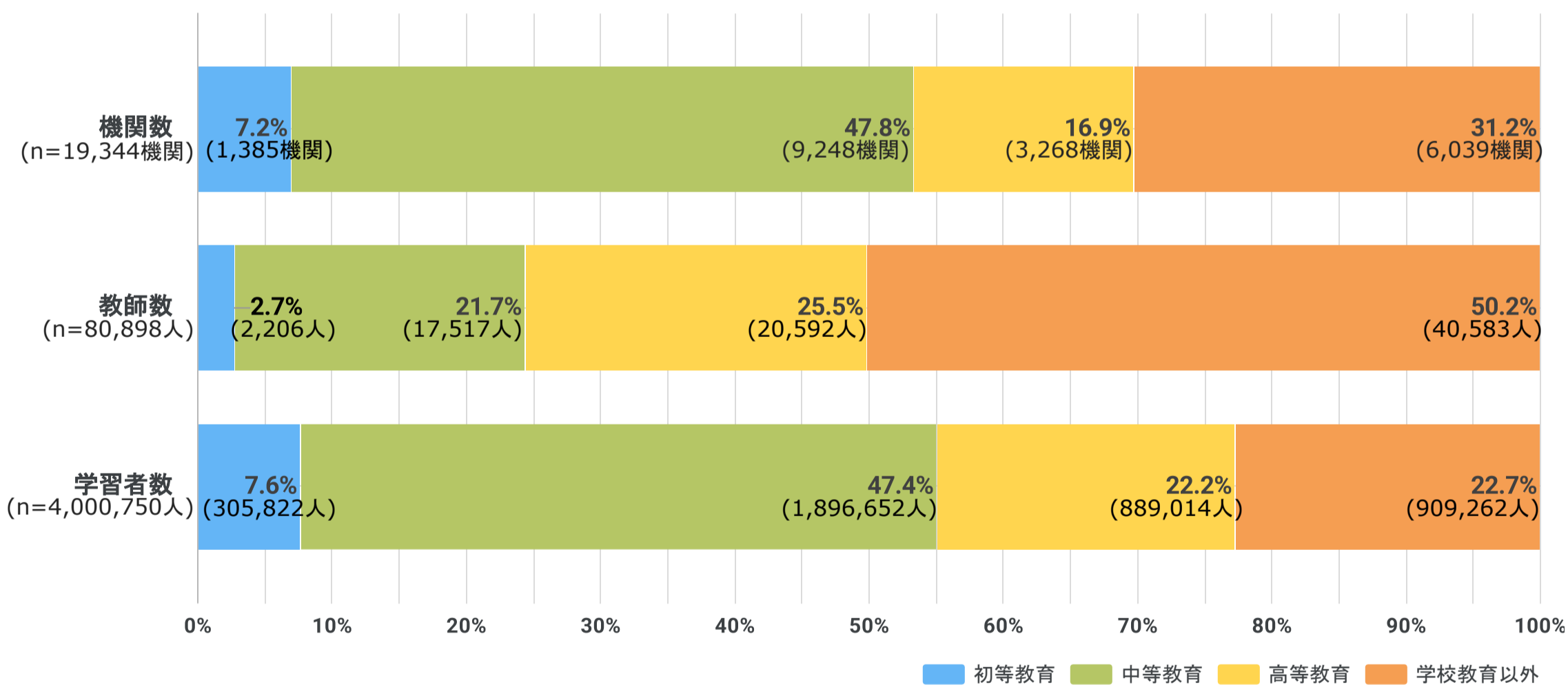
教育段階別に見た機関数は、初等教育1,385機関（前回（2021年度）調査比14.5%減）、中等教育9,248機関（同6.0%増）、高等教育3,268機関（同3.6%減）、学校教育以外6,039機関（同24.4%増）となっており、前回調査に引き続き中等教育が機関数全体の約半数を占めている。中等教育と学校教育以外の機関数は増加した一方で、初等教育、高等教育の機関数は減少したが、結果として全世界でみると5.9%の増加となった。

教師数については、初等教育2,206人（前回調査比36.1%減）、中等教育17,517人（同7.6%減）、高等教育20,592人（同3.8%減）、学校教育以外40,583人（同17.4%増）であり、前回調査同様、学校教育以外のカテゴリで日本語を教えている教師の占める割合が最も高い。また、初等教育から高等教育の学校教育全体で教師数が減少している一方で、学校教育以外の教師数は大幅に増加し、全世界でみると8.5%の増加となった。

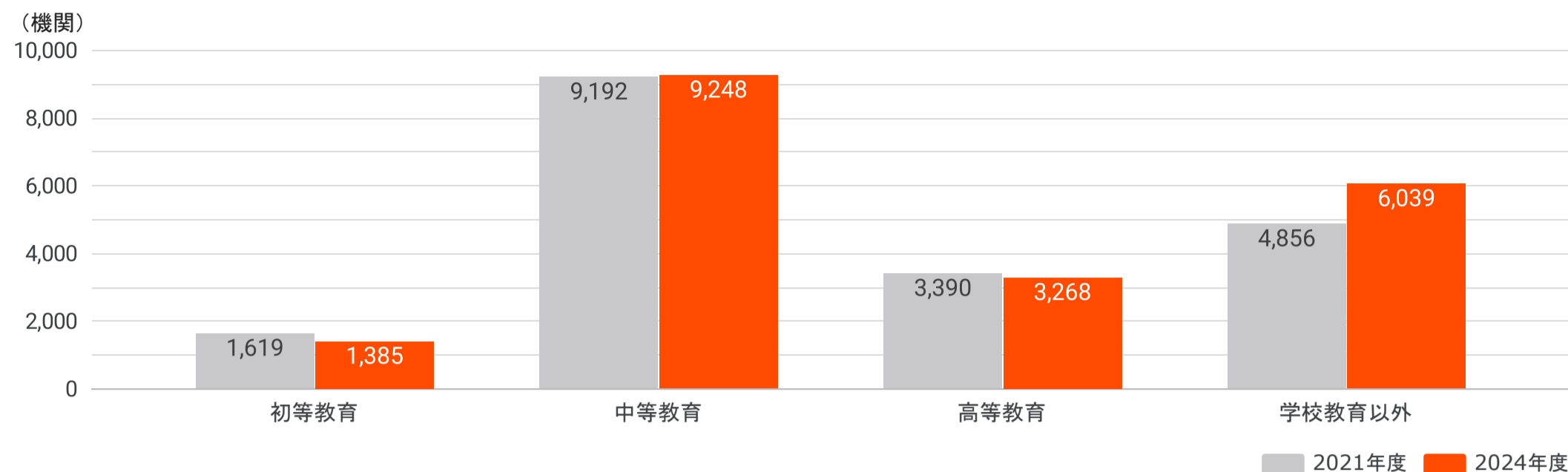
学習者数については初等教育305,822人（前回調査比7.8%減）、中等教育1,896,652人（同7.7%増）、高等教育889,014人（同8.4%減）、学校教育以外909,262人（同49.0%増）となり、機関数と同様に中等教育の占める割合が約半数で最も多い。中等教育と学校教育以外では増加した一方、初等教育と高等教育では減少した。学校教育以外の学習者数が高等教育の学習者数を上回ったのは1990年度調査以来であり、全世界でみると学習者数は、5.4%増加となった。

オンライン授業実施率については、学校教育以外での実施率が56.2%と一番高く、次いで高等教育が42.7%という結果となった。前回調査では、高等教育が1位で、学校教育以外が2位であったが、順位が逆転した。なお、初等教育や中等教育、高等教育の学校教育ではいずれも約20ポイント数値を下げ、コロナ禍が明け、対面授業が復活したことが判明した。

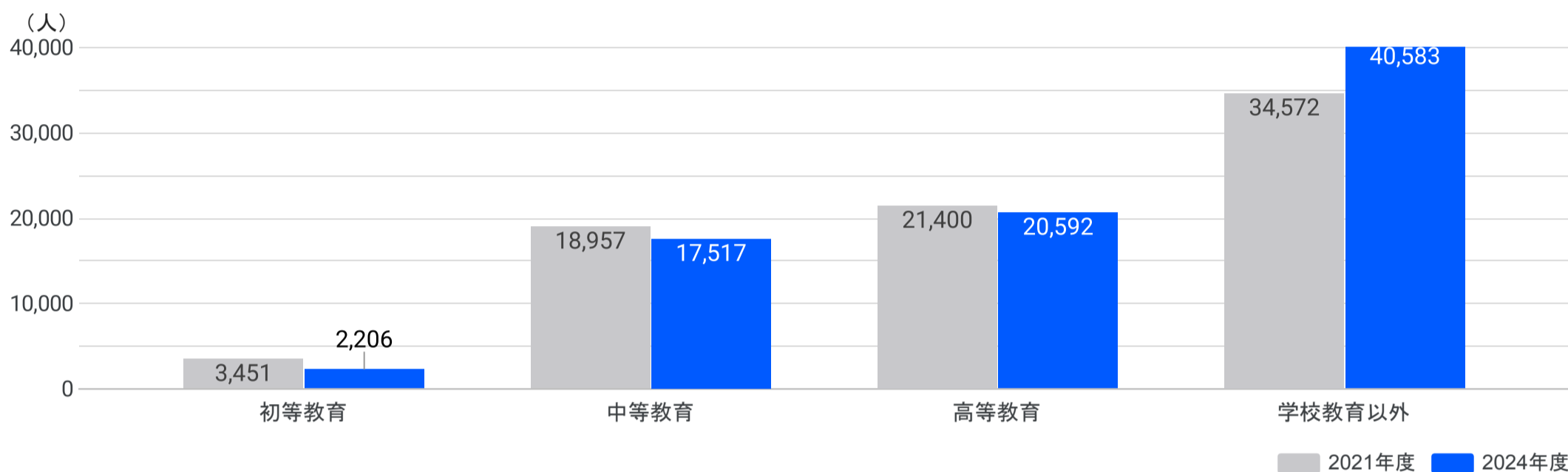
グラフ1-3-1 教育段階別機関数・教師数・学習者数の割合



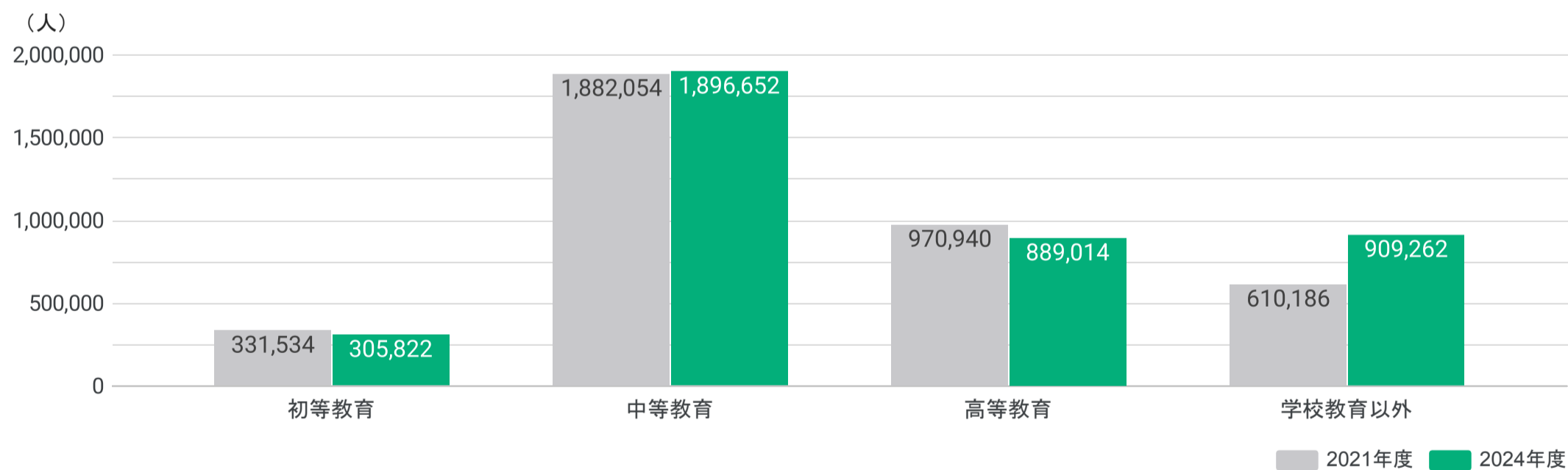
グラフ1-3-2 教育段階別の機関数（2021年度調査との比較）



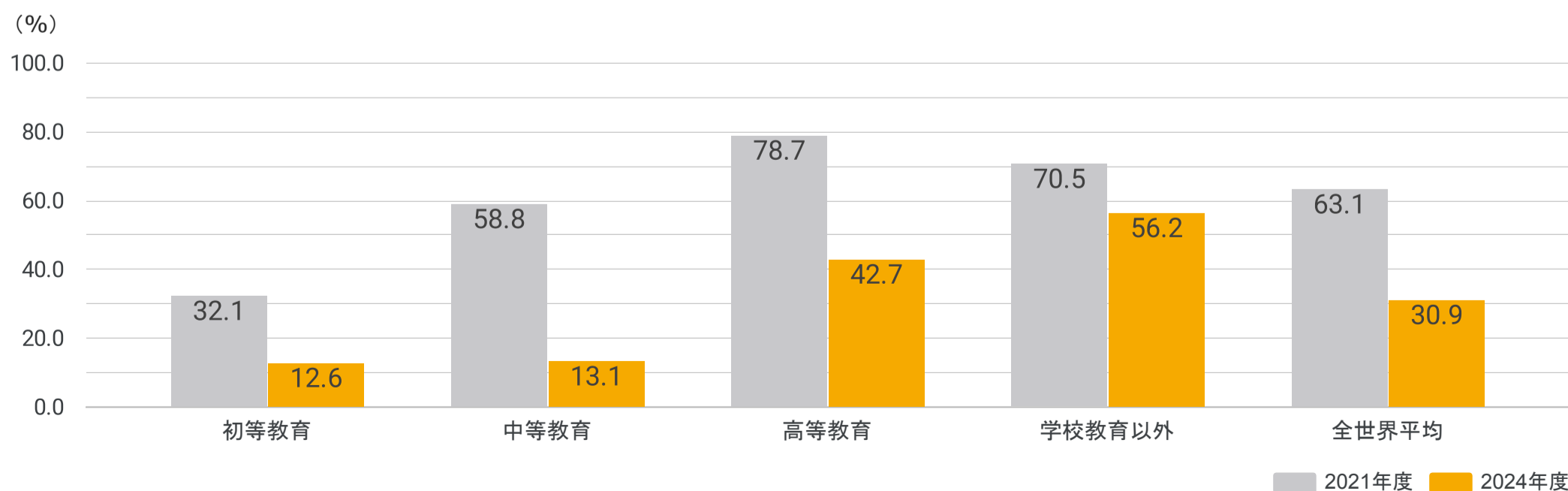
グラフ1-3-3 教育段階別の教師数（2021年度調査との比較）



グラフ1-3-4 教育段階別の学習者数（2021年度調査との比較）



グラフ1-3-5 教育段階別のオンライン授業実施率



4. 教師の概況

教師1人あたりの学習者数は49.5人、日本語母語話者教師の割合は17.7%

今回調査における教師1人あたりの学習者数は全世界平均で49.5人であり、前回調査の50.9人よりも少なくなりました。また、1機関あたりの教師数は前回調査の4.1人から4.2人と大きな変化はなかった。日本語の母

語話者教師数は前回調査の13,211人から14,306人へ増加（前回調査比8.3%増）、教師数全体に占める割合は17.7%から変化はなかった。

表1-4-1 1機関あたりの教師数・教師1人あたりの学習者数

	教師 (人)	機関 (機関)	学習者 (人)	1機関あたりの教師 (人)	教師1人あたりの学習者 (人)
2021年度	74,592	18,272	3,794,714	4.1	50.9
2024年度	80,898	19,344	4,000,750	4.2	49.5
増減率 (%)	8.5	5.9	5.4	2.4	▲2.8

表1-4-2 教師内訳（教師総数・常勤・非常勤・日本語母語話者教師）

	教師総数 (人)	常勤 (人)	常勤 (%)	非常勤 (人)	非常勤 (%)	日本語母語話者教師 (人)	日本語母語話者教師 (%)
2021年度	74,592	55,207	74.0	19,385	26.0	13,211	17.7
2024年度	80,898	60,697	75.0	20,201	25.0	14,306	17.7
増減率 (%)	8.5	9.9	-	4.2	-	8.3	-

日本語教師数が多いのは学校教育以外のカテゴリ、全教師に対する母語話者教師の割合は初等教育が最多

教育段階別にみると、1機関あたりの教師数が最も多いのは学校教育以外の6.7人、次いで高等教育の6.3人、中等教育の1.9人、初等教育の1.6人となった。

また、1機関あたりの母語話者教師数が多いのは高等教育（1.3人）だった。全教師に対する母語話者教

師の割合が高いのは初等教育の31.8%で、前回調査の38.9%から減少している。次いで高等教育（20.7%）、学校教育以外（18.2%）、中等教育（11.2%）の順番となり、母語話者教師の割合が増加したのは中等教育のみであった。

表1-4-3 教育段階あたりの教師数・日本語母語話者教師数

教育段階	教師数 (人)	日本語母語話者教師 (人)	1機関あたりの教師 (人)	全教師に対する日本語母語話者教師の割合 (%)
初等教育	2,206	701	1.6	31.8
中等教育	17,517	1,969	1.9	11.2
高等教育	20,592	4,268	6.3	20.7
学校教育以外	40,583	7,368	6.7	18.2

教師1人あたりの学習者数が多いのは大洋州、母語話者教師の割合が高いのは北米と西欧

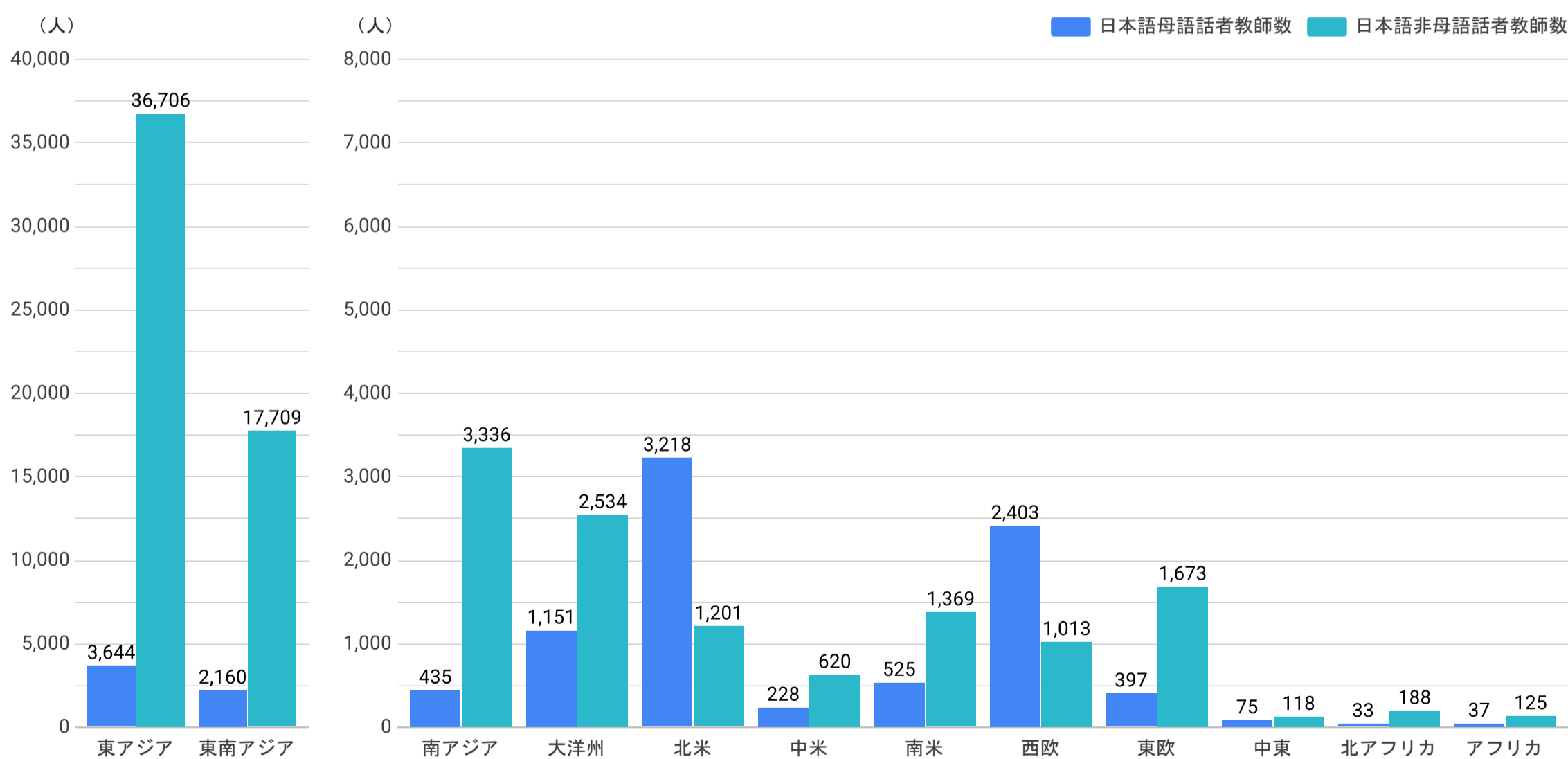
地域別にみると、教師1人あたりの学習者数は、大洋州（123.4人）が最も多くなっており、次いで東南アジア（65.2人）、アフリカ（50.0人）と、上位3地域の顔ぶれは2015年度調査から変わっていない。また、母語話者教師の割合が高いのは北米（72.8%）、西欧（70.3%）

の2地域で、前回調査と順位は入れ替わっているものの、過去4回の調査で一貫して見られる傾向である。なお、前回調査と同様に、日本語教育の規模、及び中等教育の割合の大きな東アジア（84.8%）や東南アジア（74.3%）では常勤教師の比率が高い結果となった。

表1-4-4 教師内訳（教師総数・常勤・非常勤・日本語母語話者教師）・教師1人あたりの学習者（人）

地域	教師（人）	常勤（人）	常勤（%）	非常勤（人）	非常勤（%）	日本語母語話者教師（人）	日本語母語話者教師（%）	教師1人あたりの学習者（人）
東アジア	40,350	34,222	84.8	6,128	15.2	3,644	9.0	43.1
東南アジア	19,869	14,753	74.3	5,116	25.7	2,160	10.9	65.2
南アジア	3,771	2,135	56.6	1,636	43.4	435	11.5	34.2
大洋州	3,685	2,211	60.0	1,474	40.0	1,151	31.2	123.4
北米	4,419	2,561	58.0	1,858	42.0	3,218	72.8	34.5
中米	848	262	30.9	586	69.1	228	26.9	21.1
南米	1,894	1,227	64.8	667	35.2	525	27.7	22.4
西欧	3,416	1,685	49.3	1,731	50.7	2,403	70.3	28.4
東欧	2,070	1,372	66.3	698	33.7	397	19.2	27.5
中東	193	108	56.0	85	44.0	75	38.9	32.1
北アフリカ	221	90	40.7	131	59.3	33	14.9	20.3
アフリカ	162	71	43.8	91	56.2	37	22.8	50.0
全世界	80,898	60,697	75.0	20,201	25.0	14,306	17.7	49.5

グラフ1-4-1 地域別日本語母語話者教師・日本語非母語話者教師数



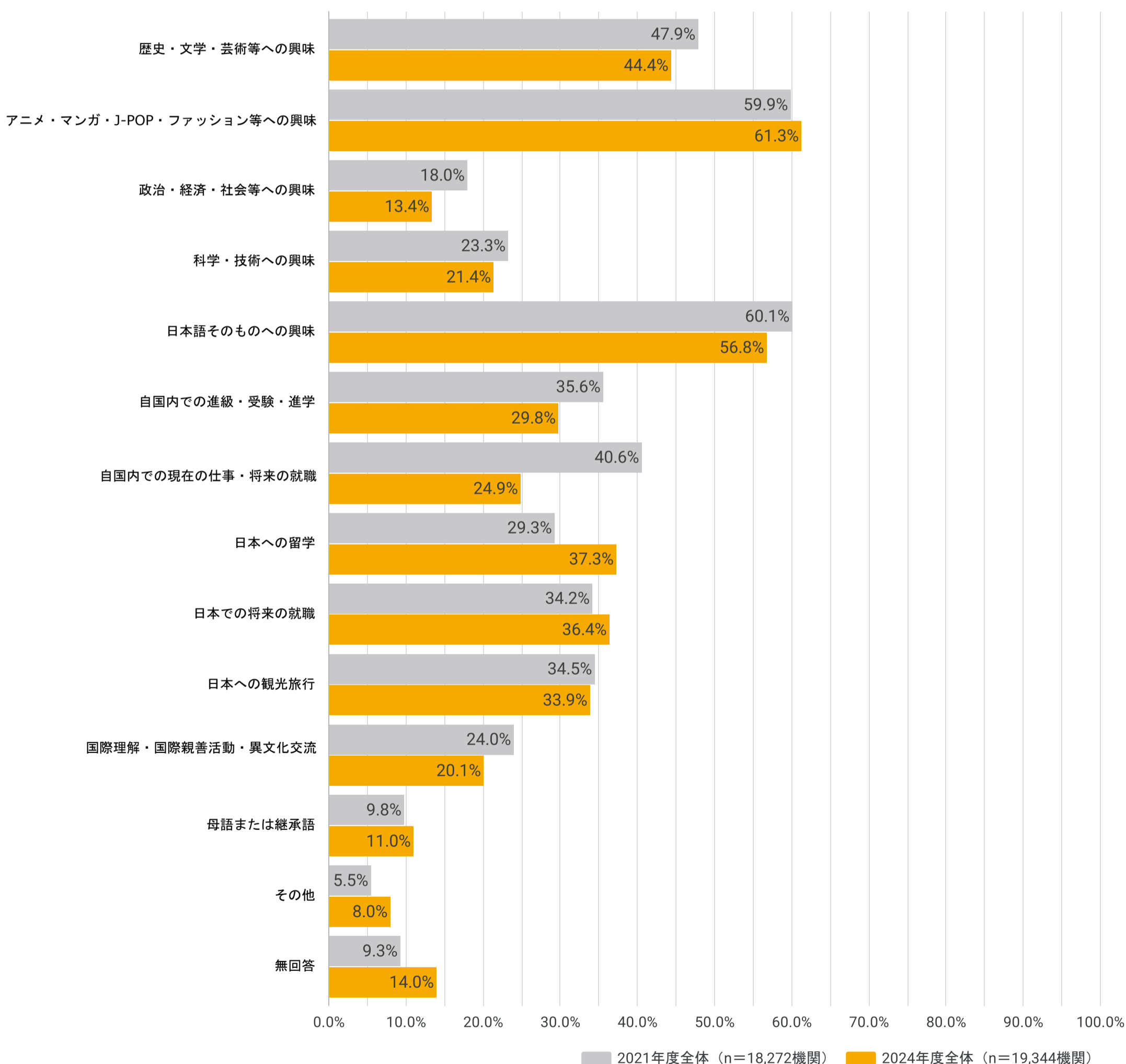
5. 学習目的・理由の概況

「マンガ・アニメ・J-POP・ファッション等への興味」「日本語そのものへの興味」「歴史・文学・芸術等への興味」が引き続き上位3項目に

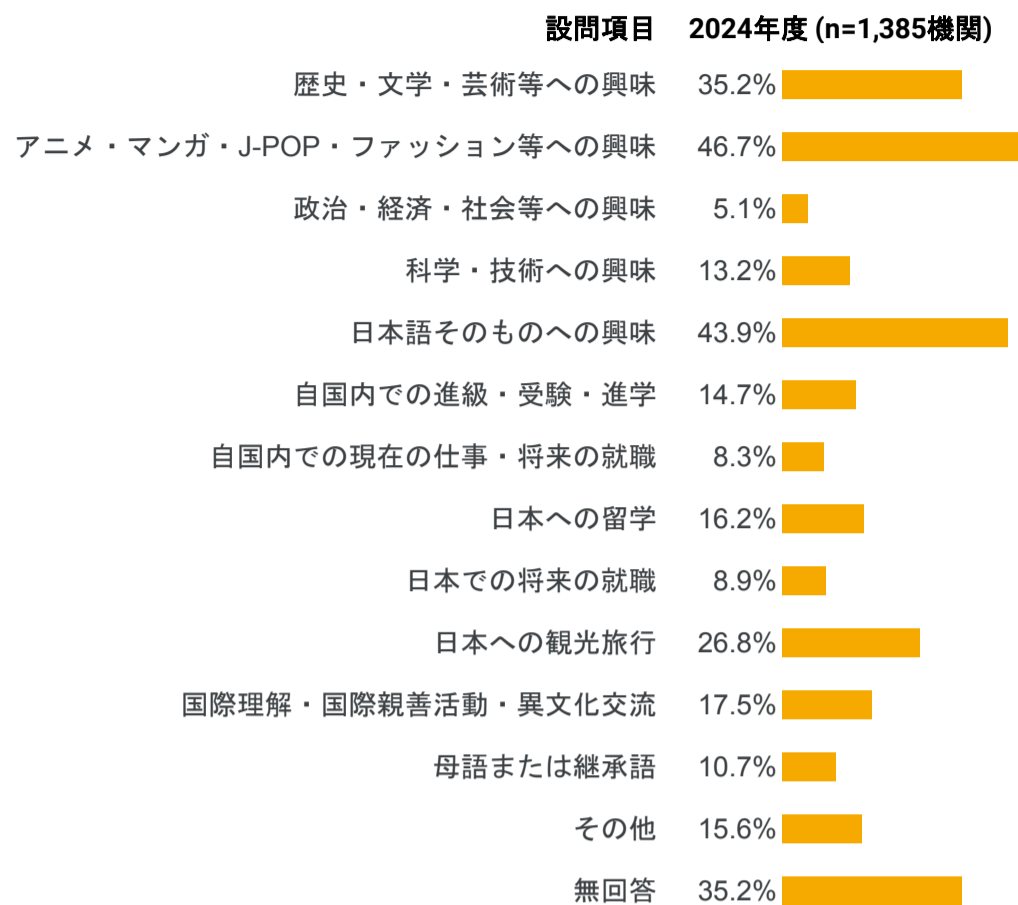
今回調査において、世界の日本語教育機関が在籍する学習者の学習目的・理由として挙げた項目のうち最も回答が多かったのは「アニメ・マンガ・J-POP・ファッション等への興味」（61.3%）、続いて「日本語そのものへの興味」（56.8%）、3位は「歴史・文学・芸術等への興味」（44.4%）となり、前回（2021年度）調査の1位と2位が入れ替わる形となったが、これら3項目が日本語学習の大きな目的となっ

ている状況は継続している。次いで「日本への留学」（37.3%）、「日本での将来の就職」（36.4%）、「日本への観光旅行」（33.9%）と続き、コロナ禍が終わり、日本への渡航を目的とした学習目的が上位となった。他方、「自国内での進級・受験・進学」（29.8%）、「自国内での現在の仕事・将来の就職」（24.9%）は前回調査から、それぞれ5.8ポイント、15.7ポイント減少した。

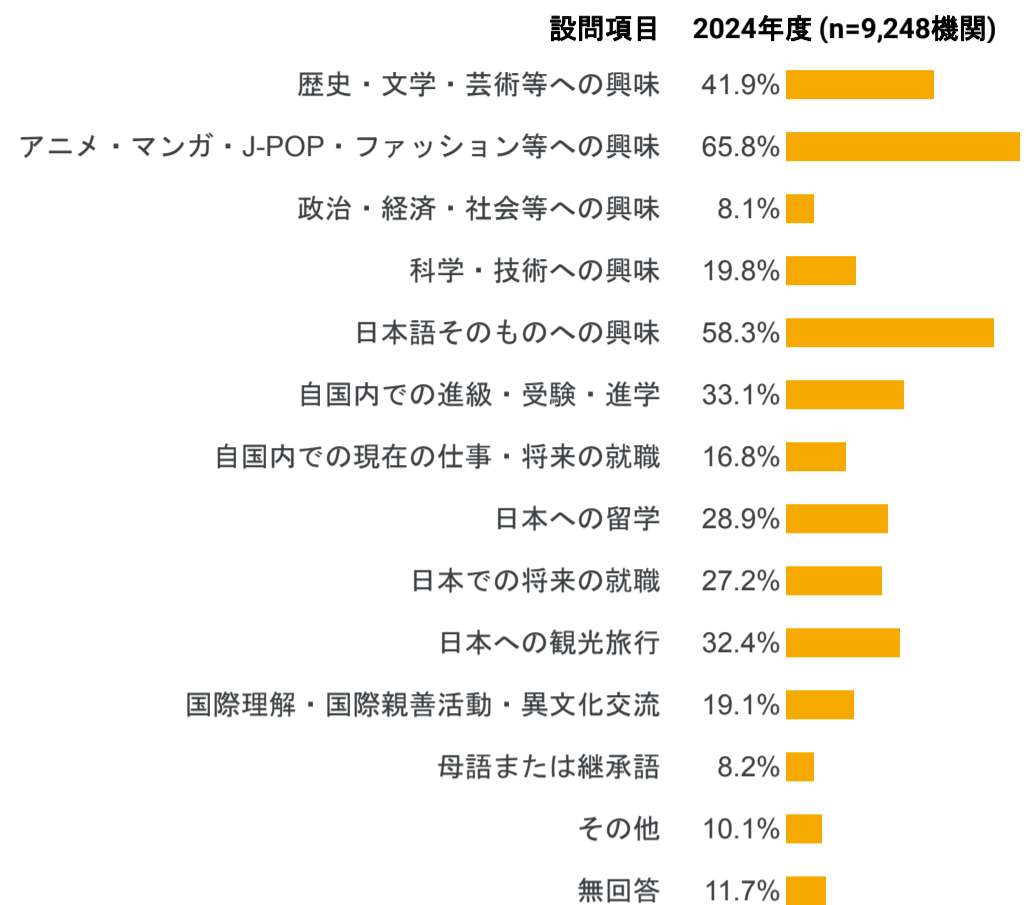
グラフ1-5-1 日本語学習の目的（全教育段階）



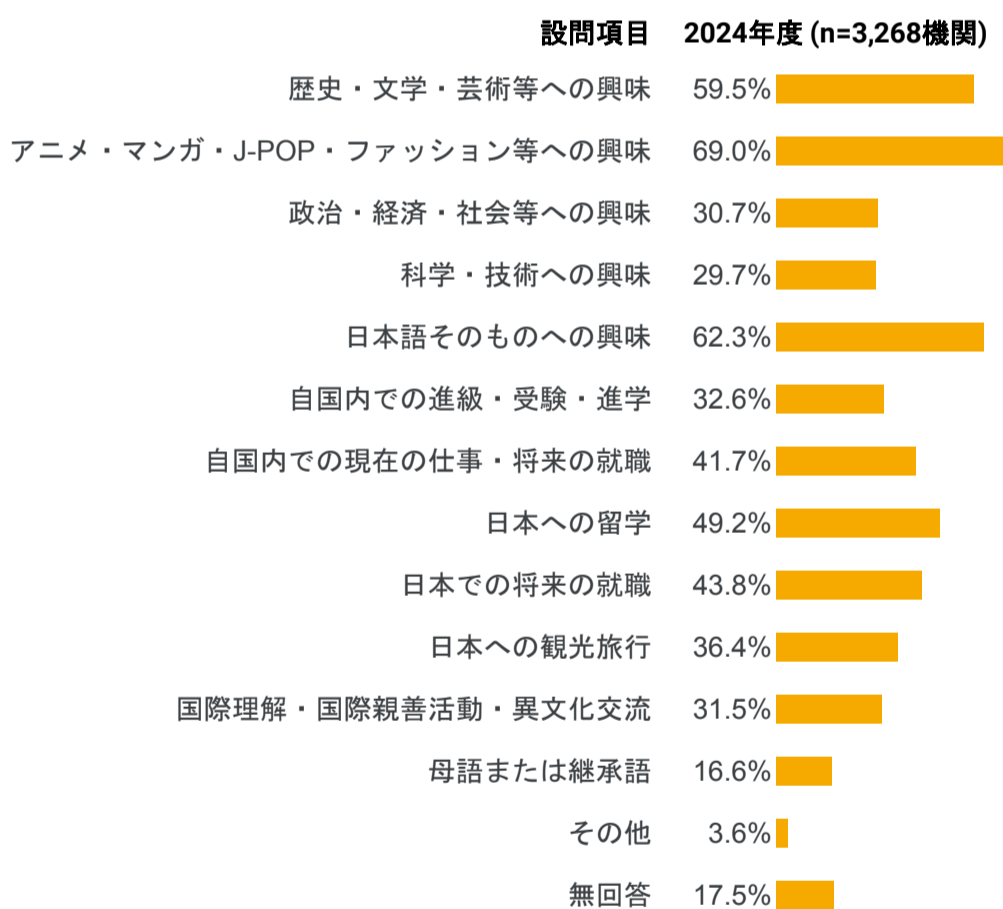
グラフ1-5-2 日本語学習の目的（初等教育）



グラフ1-5-3 日本語学習の目的（中等教育）



グラフ1-5-4 日本語学習の目的（高等教育）



グラフ1-5-5 日本語学習の目的（学校教育以外）

